

わが国における温泉地のまちづくりに関する既往研究調査

-4 学協会の査読付論文を対象として-

A Review of Previous Research on Town Planning in Japanese Hot Spring Resorts
-Focus on Peer-reviewed Paper Related to Four Academic Societies-○西山孝樹¹, 天野光一¹*Takaki Nishiyama¹, Koichi Amano¹

Abstract: In Japan, people have visited hot springs since ancient times. However, even hot spring resorts with long histories are now comprised primarily of large-scale inns and hotels, which provide restaurants and souvenir shops under one roof. Consequently, problems have arisen throughout Japan as the hot spring districts that lie in the vicinity of these large-scale facilities have become deserted. Therefore, this study aims to grasp the trends in research on town planning in Japan's hot spring resorts through peer-reviewed articles published during the last 20 years and identify areas of research that have not been explored extensively.

1. はじめに

わが国最古の正史である『日本書紀』, 舒明天皇 3 (631) 年の記述をみると, 「幸干撰津国間温泉」とあり, 古代から温泉を訪れる習慣が存在していた。

このように, 歴史が積み重なった温泉地であっても, 今日では食事や土産の購入等が一施設内で完結する大規模な旅館やホテルが多い。そのため, 足元にひろがる温泉街が疲弊している問題が全国各所で散見される。

そこで本稿では, わが国の温泉地におけるまちづくりの研究動向を掴み, 今後の研究活動における基礎情報を得る事を目的とした。

2. 研究方法

過去 30 年 (1985 年~2015 年) の間で発表された査読付論文のなかで, 題目に「温泉」が含まれているものを研究分野とその内容 (Table.1) で分類整理した。

Table.1 The contents list of peer-reviewed papers

項目	研究内容	項目	研究内容	項目	研究内容
A	形成 (発達) 過程	B	盛衰史	C	類型化
D	現状把握	E	利用実態	F	行動形態

3. 研究結果

Table.2 で示した論文集のなかで, 「温泉」が含まれるものとして 37 本が掲載されており, それらを対象として既往研究の調査を行った^{[1]~[5]}。土木学会論文集には, 「温泉」が含まれる論文は存在しなかった。

(1) 日本観光研究学会が発行する査読付論文の調査

本査読付論文では, 研究対象が多岐にわたる。メダ

Table.2 List of peer-reviewed papers

学会名	査読付論文集	掲載数
日本観光研究学会	『観光研究』	6
日本国際観光学会	『日本国際観光論文集』	4
日本都市計画学会	『一般研究論文』	4
	『学術研究発表会論文』	8
日本建築学会	『日本建築学会計画系論文集』	15
土木学会	『土木計画学論文集』	0
合計		37

1: 日大理工・教員・まち

ィアによる旅館イメージの変遷や旅行前, 道中, 到着後で旅行の動機を促進させる情報流通が異なっていたことを明らかにした論文がみられた (Table.3, No.4,6)。

Table.3, No.3 の論文では, 日帰り温泉地に関して, 情報誌を基にそのブームを社会背景と共に明らかにした。

その他にも, 唾液に含まれるストレス物質の変化量から, 温泉地における長期滞在の有用性が示された論文も掲載された。温泉客の精神面の変化を人間工学の観点から述べた論文の存在も興味深い (Table.3, No.5)。

Table.3 List of peer-reviewed papers (JITR)

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	1995	近代	東菜温泉 (韓国)	一次史料	空間構造	●					
2	2000	近代	全国 26ヶ所の温泉地	新聞・旅行雑誌	ブーム		●				
3	2003	現代	関東近県 159 の日帰り温泉施設	アンケート調査 新聞	ブーム	●	●				
4	2010	近代 現代	関東圏の旅館	アンケート調査 実験	情報流通	●					
5	2010	現代	鹿教湯温泉	ストレス低減	現状把握			●			
6	2011	近世	箱根 草津 有馬 における湯治	一次史料	情報流通	●	●				

※補注「研究内容」の A~F は, Table.1 の項目と一致する

(2) 日本国際観光学会が発行する査読付論文の調査

日本を対象とした論文が 2 編, 海外を対象とした論文が 2 編の計 4 編であった。例えば, Table.4, No.2 では, オーストラリア・ヴィクトリア州におけるスパリゾートの利用実態を把握し, 短期旅行者をどのように温泉地へ引き込むかが課題であることを指摘している。

城崎温泉が持つホスピタリティは, ユニバーサルデザイン導入といったハード面の整備だけではなく, インターンシップや学生イベントなど, 大学との連携に代表されるソフト面の導入が先の温泉地におけるまちづくりが成功したと示されている (Table.4, No.3)。

また, Table.4, No.1 で研究対象となっているドイツにおける温泉地の近代化は, 住民主導で行う社会全体の

意識改革が伴っていることが述べられていた。

Table.4 List of peer-reviewed papers (JAFIT)

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	2002	現代	日本・ドイツの温泉地	ヒアリング	制度・施策 空間構造					●	
2	2002	近代 現代	オーストラリア ヴィクトリア州	アンケート調査	利用実態					●	
3	2004	現代	城崎温泉	アンケート調査 ヒアリング	まちづくり					●●	
4	2011	現代	全国 68ヶ所の温泉地	アンケート調査	制度・施策					●●	
※補注「研究内容」の A~F は、Table.1 の項目と一致する											

(3) 日本都市計画学会が発行する査読付論文の調査

温泉に関する論文 12 編のうち、各時代の温泉街における空間構造の変遷や盛衰史について述べたものが 4 編掲載されていた (Table.5, No.1~No.3, No.10)。

温泉地における住民と観光客の行動がどのように関連し、二者がどのようにまちを共同利用していくかに迫った論文がみられた (Table.5, No.7)。その他には、現代を対象とした温泉街におけるまちづくりに関して、公営日帰り温泉では、開業から 2~3 年で施設利用者のピークを迎え、その後は施設の老朽化も相まって利用者が減少傾向となる課題が示された (Table.5, No.6)。

また、伝統的温泉街における温泉情緒をつくり出す景観構成要素の分類と、それらに関連する制度・施策の分析を行ったものもみられた (Table.5, No.9)。

(4) 日本建築学会が発行する査読付論文の調査

本稿では、まちづくりに関する論文を対象としているため、建築様式の変遷について述べられた論文は除いた (Table.6, No.1~No.3, No.9, No.13)。

Table.5 List of peer-reviewed papers (The City Planning Institute of Japan)

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	1989	近世 近代	全国 6 温泉地における長期滞在	一次史料	空間構造	●					●
2	1993	近代 現代	全国 33ヶ所の温泉地	一次史料	空間構造	●	●				
3	1996	近世	全国 21ヶ所の温泉地	一次史料	空間構造	●					
※No.4, No.5 の論文は、No.3 の論文に対する討議											
6	2004	現代	兵庫県城崎町	アンケート調査	空間構造 まちづくり					●	●
7	2005	現代	群馬県 12ヶ所 公営日帰り温泉	アンケート調査	利用実態					●	
8	2006	現代	ドイツ バードセッキングゲン	ヒアリング調査 アンケート調査	制度・施策 (都市計画)					●	
9	2010	現代	全国 69ヶ所の温泉地	アンケート調査 ヒアリング調査	制度・施策 (景観)					●●	
10	2010	現代	全国 93ヶ所の温泉地	ガイドブック 地形図	空間構造		●●			●	
11	2011	近代 現代	全国 38 地域の温泉地	雑誌	イメージ	●	●				
12	2014	現代	群馬県内・中山間地域の温泉地	アンケート調査	防災					●	
※補注「研究内容」の A~F は、Table.1 の項目と一致する											

Table.6, No.5~No.10 の論文は、松田法子らにより、主として近世から近代の大分県・別府温泉および静岡県・熱海温泉における空間構造の変遷を当時の支配構造や旅館の立地から明らかにしている。

Table.6, No.11 の論文では、群馬県水上温泉の事例が示されている。中心市街地の空き店舗を利用したまちづくり拠点の運営では観光産業以外に従事する住民をいかに巻き込んでいくかが重要であると述べている。

4. まとめ

本稿では、4 学協会で発行された過去 30 年の査読付論文から、「温泉」を研究対象とした論文を整理した。

そのなかで、共通点としては、現状の温泉地で取り組むまちづくりが述べられた論文が少ない傾向にあった。旅館の立地やアクセスの変遷といったハード面に焦点を当てた研究の蓄積はある。一方でソフト面では、現代のまちづくりや観光地経営については、アンケート調査やヒアリングによって問題点や課題の洗い出しは行われてはいるものの、課題解決の手法について言及したものは非常に少ない。今後、まちづくりのビジョン形成が研究活動として求められるテーマになる。

5. 参考文献

- [1] 日本観光研究学会：機関紙『観光研究』, Vol.6-Vol.26, 1995-2015.
- [2] 日本国際観光学会：『日本国際観光論文集』, 第 3 号-第 22 号, 1995-2015.
- [3] 日本都市計画学会：『一般研究論文』, 204 巻-45-1 巻, 1996-2010.
- [4] 日本都市計画学会：『学術研究発表会論文』, 24 号-49-3 号, 1995-2014.
- [5] 一般社団法人日本建築学会：『日本建築学会計画系論文集』, 1997-2015.

Table.6 List of peer-reviewed papers (AIJ)

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	1997	近世	山形・熱海温泉	一次史料	建築様式	●					
2	2000	近世~ 現在	群馬 (伊香保・草津・水上温泉)	一次史料	建築様式	●					
3	2000	近世~ 現在	群馬・四万温泉	一次史料	建築様式	●					
4	2003	近世	石川・山中温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
5	2004	近世~ 現在	大分・別府温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
6	2004	近世 近代	大分・別府温泉	一次史料	空間構造	●					
7	2005	近世 近代	静岡・熱海温泉	一次史料	空間構造	●					
8	2005	近代	静岡・熱海温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
9	2006	近代	静岡・熱海温泉	一次史料	建築様式	●	●				
10	2006	近世	静岡・熱海温泉	一次史料	空間構造					●	
11	2007	現代	群馬・水上温泉	現地調査	まちづくり					●	
12	2008	現代	全国 105ヶ所の温泉街	文献 地形図	空間構造	●	●				
13	2012	近代	長野・中房温泉	一次史料	建築様式	●					
14	2014	近代	兵庫・宝塚新温泉	一次史料	経営方針	●					
15	2015	近世 近代	石川・山中温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
※補注「研究内容」の A~F は、Table.1 の項目と一致する											